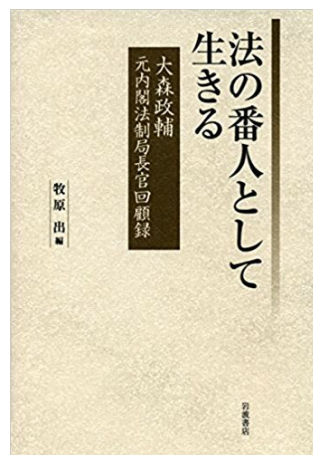
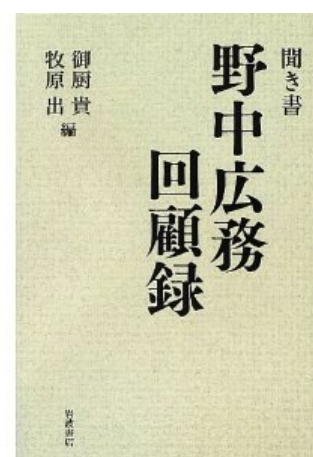
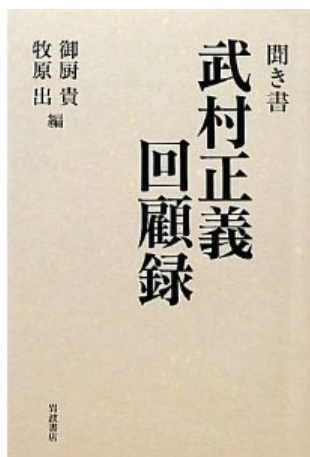


# 衆議院選挙 —政治改革の行方—

東京大学先端科学技術研究センター  
牧原 出

# オーラル・ヒストリー



その他報告書出版形式では多数発表

# PHP総研報告書『官邸の作り方』 2024. 6



# 1. はじめに：全体像

# 北海道新聞 3月10日

## 「今の自民党は、頭を切り落とされ、のたうち回っている蛇のようだ」

総合 16版 2024年(令和6年)3月10日(日曜日) 北海道新聞 第3報知部発行

### 「政治とカネ」不信 自民どう払拭

自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件を受け、岸田文雄首相(党総裁)は政治改革に取り組み姿勢を強調している。ただ「政治とカネ」という本質的な問題の実態解明は進まず、衆参両院の政治倫理審査会(政倫審)開催などを巡り、自民党の統治能力の欠如もあらわになった。政治が自浄能力を発揮し、国民の信頼を取り戻すには、何が重要なのか。政治学の専門家と政策重視の改革を訴える首長経験者に聞いた。

### 政策立案裏金は不要

「政治に金がかる」というのは、政治が成るに必要不可欠なものである。政治に必要な金は、主として「選挙」の三つ、「政治」「選挙」の三つに「政治」が最も多くかかる。政治に必要なのは、政治家が政策を立案し、国民に説明し、支持を受けること。政治に必要なのは、政治家の政策立案と、国民の支持を得ること。政治家は、政策立案と、国民の支持を得るために、政治に金をかける必要がある。政治家は、政策立案と、国民の支持を得るために、政治に金をかける必要がある。政治家は、政策立案と、国民の支持を得るために、政治に金をかける必要がある。

### 政治資金透明化必須

将来的に与野党問わず、政治資金の透明化は必須である。政治資金の透明化は、政治の透明化を促すとともに、国民の信頼を得るための重要な手段である。政治資金の透明化は、政治の透明化を促すとともに、国民の信頼を得るための重要な手段である。政治資金の透明化は、政治の透明化を促すとともに、国民の信頼を得るための重要な手段である。

### 特定機能病院 引き上げ特例申請

特定機能病院の運営は、国民の健康と医療の質を確保するために重要な役割を果たしている。特定機能病院の運営は、国民の健康と医療の質を確保するために重要な役割を果たしている。特定機能病院の運営は、国民の健康と医療の質を確保するために重要な役割を果たしている。

### 医師残業上限9割「無理」

医師の長時間労働は、医療の質と医師の健康を脅かしている。医師の長時間労働は、医療の質と医師の健康を脅かしている。医師の長時間労働は、医療の質と医師の健康を脅かしている。

## 日本政治のこれから（骨子）

- 高負担社会にあわせた政治改革が始動
- 政治資金の透明化は不可避
- 従来の自民党は統治能力を減じ、長期的に統治能力は野党並みがデフォルトに
- 政治改革を進めた党へ支持率が集まる、政治資金のウラでの授受なしの党内ガバナンス能力・統治能力が問われる
- 自民党はガバナンス力を落とした中で政治改革を進めることに困難を極める、衆議院解散・総選挙の結果は予断を許さず、来年7月の参院選は厳しい結果になる可能性も
- 必要なのは「こらえる政治」：政権交代までの撤退戦のリーダーシップ
- 当面の政権の課題は岸田政権から何が継承されるか？

## 2. 衆議院総選挙

## 2つの党首選

### ➤ 自民党

石破茂と高市早苗が拮抗して、石破が勝利

右派の影響力の大きさがうかびあがる、特にSNSでの発信が要注意

反安倍の石破と安倍継承の高市という構図の中にある安倍元首相の存在感

岸田内閣の政策継承の必要性：外交、金利政策などのマクロ経済政策

### ➤ 立憲民主党

国民の支持する政治家が代表に就任

弁舌の野田代表の存在感がどう高まるか？

党内の左派の不満蓄積、左派には政権担当の意思が欠如

自民も立民も**党首が中央に寄ること**で、**左右から激しく批判**される傾向

政策的に近づいていく両党はともに国民の信頼を増す

政権交代への納得感も増す



# 石破政権の特徴

- 党人事  
手堅くまとめている
- 閣僚人事と政策  
岸田政権の経済・外交の継承  
軽量内閣、安保・内政に力点
- 官邸人事  
官房長官の安定性  
事務の官房副長官が久しぶりに旧自治、政策調整力高く、政治資金規正法所管官庁出身  
財務省の影響力が高まる可能性  
各省を締め付けないならば、各省の自立化と党政調部会の強化へ
- 全体の雰囲気  
「刷新感」はない：人材はほぼ出尽くしており、使い回しとなる  
世代交代・女性の存在はない→総選挙比例候補で部分的に補う  
高市早苗氏・右派との対立

**※小泉純一郎内閣の新しさは、民間人、女性、実力、派閥排除だった**

# 当面の施策とスケジュール

## ➤ 解散総選挙

裏金議員の処遇・統一教会などのスキャンダルへの不満が噴出しつつある  
自公で過半数割れの場合、連立・閣外協力などの対応で混乱が生ずる  
国民民主党と日本維新の会の得票がどうなるか？  
立憲民主党が**比例代表でどこまで得票**できるか？

## ➤ 選挙後の政局

政治改革の対応が蒸し返されることは確実  
自公で過半数割れかどうかで大きく状況は変わる→石破首相の続投の可否、野党の政策の採用の有無  
石破首相の宿願である防災対策（能登半島豪雨対策、防災省設置問題）：災害発災があれば追い風

## ➤ 来年度予算と通常国会

政治資金規正法の細目決定をどうするか？財政問題に直結する  
自民党がガバナンスを回復して国会運営に当たれるか？  
政権は**経済政策の責任者が見えない**が、うまく対応できるか？

## ➤ 7月参議院選挙までに何を達成するか？

総選挙で過半数を維持し、参議院選挙を乗り切れば長期政権の可能性  
ここで敗北すると政権交代の機運が高まる

# 3. 構造的問題とは何か？

## 事態の推移

- 2023. 12 安倍派政治資金問題発覚
- 2024. 1 検察捜査終結  
1 議員逮捕、2 議員起訴、安倍派・二階派・岸田派会計責任者在宅起訴
- 2024. 1 岸田首相、派閥解消表明  
安倍派、二階派、森山派も解消
- 2024. 2～3 衆参政倫審開催
- 2024. 4 自民党の処分  
2人離党勧告、元幹部3名党員資格停止、元幹部3名党役職停止、計39人処分
- 2024. 8 岸田首相、自民総裁選不出馬表明

# 入れ子状の構造的な問題

## 議員個人／派閥／自民党の3層の問題

- キックバックを受けた**議員個人への強力な批判**  
国民の批判はこのレベル  
→ **議員特権を許さない**、課税なき議員は代表資格なし
- 派閥政治と裏金を用いた自民党の問題  
納税の機会（買い物の機会）、書類作成・提出の機会に自民党批判が意識される  
→ 「決められる党」としてのガバナンス能力喪失、地方議員との関係  
**問題は今後更に浮上しうる**  
「党近代化」という幹部への集権化  
規律違反への厳罰の必要性  
総裁・幹事長の意思の徹底が不可避  
資金の幹部からの一括配分

# 高負担社会における国民の政治資金批判は今後ますます強烈化

- 2019. 10 消費税10%  
2023. 10 インボイス制度
- **政治家特権を許さない**強烈な平等主義が発現
- 消費税納税の度にこみあげる怒りは収まらない
- 今後さらなる消費増税や社会保険料改定の可能性  
→ **徹底した透明化しか解決策はない**、それ以外に政権への支持率は上がらない  
短期的に吹き荒れる「政治家バッシング」
- 2026年度予算編成においても国民負担を議論するときに、増税などなくても裏金問題がクローズアップされる = **政治改革は財政問題と直結**
- 政治家の行動様式的大幅な変更が必要、自民党は政治資金の透明化により弱体化は不可避  
→ 「決められない党」となるか  
総裁専制で議員はシラケたままの党となるか = 岸田政権末期と同様

## 自民党の未来、野党の課題

- 政治資金改革はラディカルな方向へ行くしかない  
連座制は検察の萎縮を招き政治家としては好都合  
冷静な判断の機関として、「**第三者機関**」を設置できるかが鍵  
公明党案が穏当  
石破首相はこれを設置する意向
- 党内は石破と高市を支持した右派とで大きく対立を残している  
裏金問題の引き金であった安倍派への反発も強い  
安倍派も扱いに大きく不満  
総裁への権力集中・非主流派への統制強化は党分裂となる事態もありうる
- 安倍派の時代の終わり：アベノミクスの修正進行、政策は緩やかな行政主導へ
- 野党は自民党並みの議席を持てば、同じガバナンス改革の課題に直面する

## 高負担社会における政党とは何か？

- 自民党の党ガバナンス機能不全は、民主党政権時代の民主党と同じ理由による不透明な政治資金という決め手のない「**決められない党**」へ
- 派閥と政治資金の授受が機能しない中で、どうやって党ガバナンスを保ち、統治能力を高めるかは与野党共通の課題
  - **党幹部の議員に対する直接統制**へ変われるか？  
派閥の分散ガバナンスからの激変は困難
- 今後の消費増税の時代に統治の資格を備えた党が選挙で勝利する
- 使途公開も色々あるので、第三者機関に使途をすべて公開し、そこからは選択した情報公開もあり得る
  - 第三者機関による罰金を科す、政党交付金減額などの処分も可能とする
  - 政治不信の抑止につながる



# 4. 岸田・石破政権の歴史的 役割

## 岸田・石破政権と安倍晋三

安倍晋三の「一強」からどう脱却するか？

2022. 7. 8 死去 → 9. 27 国葬

- 岸田政権発足時の「新しい資本主義」「デジタル田園都市国家構想」  
政権発足後安倍政権の継承へ転換
- 安倍死去後も継承路線を持続して安倍派への配慮  
だが、金融政策ではアベノミクスからの脱却へ  
韓国との関係改善 など安倍の路線から徐々に離脱
- 石破政権はこの転換を継承  
林官房長官の起用後、政策を委任できるかが首相の「官邸の作り方」の鍵

## 岸田・石破政権と安倍晋三

**現在問われているのは、いかなる政権であれ、岸田政権から何を継承・発展するか？**

- マクロ経済政策における金利政策、日銀との協調、投資重視
- 外交政策での岸田の「元老」的役割

**これらに加えて最大の政治課題が安倍派の清算**

- 選挙後の安倍派はどう小グループに分かれるか？  
裏金議員の閣僚登用は今後もかなり難しく裏から政権を掣肘する集団へ
- 衆院選の敗北は石破首相の問題以上に裏金問題についての自民党不信が原因
- 選択的夫婦別姓などのリベラルな争点の扱い
- 防衛費さらには社会保障に対応した増税をどうするか？

**結局は2012年以降第二次安倍政権が創出した態勢の組み替えが自民党の最大の課題**

# 石破政権と安倍晋三政権の閉塞感

## 安倍晋三政権の7年8カ月がもたらした閉塞状況からの転換は生じるか？

### (1) 安倍晋三政権と側近政治

安倍首相の即興性乏しいメモ朗読型の情報発信：同じ話・言葉の繰り返し  
官邸官僚の強固なチーム力の代償：政策形成力の拡充失敗  
マッチョ的、安保・通商・産業政策以外での感度不足  
年数が経つにつれてその幅が狭まる  
閉塞感の高まり

### (2) 石破首相と無側近政治

側近のいない石破首相の弁舌力：2時間の党首討論  
チーム感のない政権が続くには林官房長官と石破首相の協力関係が生まれるかどうか  
安倍派と右派の硬直した政策が徐々に消滅するかどうかの岐路  
閉塞感からの解放が生まれるかどうか石破政権・次期政権の可能性を拓く  
第三者機関の設置、それも前倒し、与野党共同で声明出すなどの言説創出が鍵

# 石破首相退陣の可能性

- 衆議院選挙での大敗北の場合、誰が責任をとるか？  
首相、幹事長、選挙対策委員長？  
過半数を維持した場合でも、その後の状況次第では退任はあり得る
- 臨時国会閉会后  
政権のチームが崩壊した場合
- 予算編成を終えた段階での退任  
内閣支持率が極度に低下した場合
- 参議院選挙まで続投  
後任が見当たらずダラダラ持続した場合

**総裁が誰になっても自民党への不信感は拭えないことを、自民党がいつ自覚し、どう対応するのか？  
いかなる内部の反対があったとしても、政治改革への積極的な対応以外に活路はない**

# 5. 今後の政局と政治

# 政局はどうか？

## ➤ 衆議院解散後

自公過半数維持できない場合の政党間協力は困難

## ➤ 自・公の協力以外の選択肢も模索され、連立政権自体が混乱する可能性が高い

日本維新の会、国民民主党の動向

自公と立民の大連立が混乱後に模索される可能性もあるだろう

## ➤ 自民党にとり、政治改革を仕上げた上でのガバナンスの再確立が求められる

## ➤ その間決められない自民党の状況が続く、その場合自民党と野党とで、どちらが統治にふさわしいと国民は判断するか？

## ➤ 野党が、脱官僚や大胆な公約を掲げず、政策能力・調整能力をミニмумレベルまで磨けばいつ政権を奪取してもおかしくなくなる

## ➤ 自民党は、抜本的なガバナンス改革により再生すれば、さらなる長期政権へ

# おわりに 日本政治のこれから（骨子・再掲）

- 高負担社会にあわせた政治改革が始動
- 政治資金の透明化は不可避
- 従来の自民党は統治能力を減じ、長期的に統治能力は野党並みがデフォルトに
- 政治改革を進めた党へ支持率が集まる、政治資金のウラでの授受なしの党内ガバナンス能力・統治能力が問われる
- 自民党はガバナンス力を落とした中で政治改革を進めることに困難を極める、衆議院解散・総選挙の結果は予断を許さず、来年7月の参院選は厳しい結果になる可能性も
- 必要なのは「こらえる政治」：政権交代までの撤退戦のリーダーシップ
- 当面の政権の課題は岸田政権から何が継承されるか？